

伺之

五
說

五印

十

明治三十九年一月二十四日、午後、あけ、同三十一日、五里九、ふじ、た、あ、死
第六号

正院

建國拓殖會

今般旅費定則以更正給與十日以上者
按市ノ向テハ改正ノ數者以市告之如
數集忙ハ知ルニ由道ハ隔海遠難報便
至止知正數内ハ報知者亦得之也
府縣在難比較ル以市ノ知得者自新

六十

問石使

之運業多し其途より得る免服し
 なる多し出資するも其の他多し
 初しその向ひより同之利より渡りて
 其の末より無陽より分る改正難
 其の族費より更にその末より無
 一月九日と云ふ改正し其の正
 已下ハ旧之利より毎分國に格
 此より急なる者より其の限
 下中宛

立別之後より渡りて其の末
 勅任者任官負ひて市井に
 其の族費より更にその末より無
 其の族費より更にその末より無

五甲 上日市言

同之通



明治六年一月廿日

陽抄

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

何書 二通
一過

右正人

壬申

二月廿日

史官

寫於
以中

此 卷 終

國 日 本 書 院

1000-10000

1000-10000

1000-10000

此 卷 終 此 卷 終 此 卷 終 此 卷 終 此 卷 終

中 國 書 院

開 抄 卷

市方有出如友學以和亦原為之

市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之
市方有出如友學以和亦原為之

士一百一十二号

正院市中

開拓次官里田清隆

先般市市告成其娼妓等解放

令實

市方有出如友學以和亦原為之

聖世之義典、亦在歲歲長共

北海道、百發草創、（漢）人氣

江冥係、情實方之、（漢）後急

六十一

目石吏